大垣桜高等学校　トピックス
平成27年度　服飾デザイン科ＳＰＨ事業

掲載日　平成２７年１０月１５日

服飾デザイン科　京都研修を行いました

【日　時】１０月８日（木）７：３０～１８：００
【目　的】・トレンドの流通の仕方とファッションマーケットを把握する。
・伝統衣装、伝統工芸の見学を通して、日本の伝統文化や伝統技術を理解する。
【体験先】安達組紐館（組紐）清水坂ガラス館（ガラス細工）和楽（和紙）花工房（花手毬）等
マーケットリサーチ（二年坂、三年坂、清水寺、祇園）
【対　象】服飾デザイン科３年生

研修内容

組み紐体験（安達組紐館烏丸店）

絹糸４色を組み合わせ、ブレスレットや携帯ストラップを作りました。今、「マクラメ」の技法を使って衣装を製作していますが、立体的に紐を組んでいく楽しさに気づきました。

つまみ細工　（マーケットリサーチ）

現在「打掛」をイメージした衣装を製作していています。和服のコーディネートをリサーチし、参考になったのは、街を歩く舞子さんでした。ぽっくりやかんざし、巾着、帯結びなど京都でしか学習できないことが多く学べました。これらを最大限取り入れ、製作に生かしたいです。

ガラス細工（清水坂ガラス館）

ガラスの大小や配色を考えながら配置をし、ガラスのアクセサリーを製作しました。修学旅行で体験した琉球ガラスとは、色合いや感じが異なり、趣がありました。

折り鶴イヤリング（和楽）

和紙で鶴をおり、トップコーティングを塗り、イヤリングを製作しました。製作時間は30分程度でとても手軽で、私は10月下旬に、ＳＰＨ事業の一環でパリ研修に参加します。その際、日本の伝統文化ということで、このイヤリングを作ってフランスの方と交流したいです。

京都研修を振り返って

街を散策する中で、京都ならではの建物や町並み、街を訪れる人々やおもてなしの心に触れ、改めて「日本」「和」「伝統」の良さを感じ、「日本」を意識するようになりました。研修で感じた「和」の感性を今後の作品製作に生かしていきたいです。